

## 令和 7 年 注目の補助金！！

補正予算が成立されたのが 12 月 17 日で約 3 カ月前になります。前回の記事で紹介した補助金の事務局公募がおおよそ終わり、この 3 月・4 月より本格的に補助金公募が始まってくることが予想されます。今回は前回紹介した補助金の中から、3 つをピックアップし、より詳しく各補助金の内容を確認していきます。

### ☆中小企業成長加速化補助金

- ・補助対象者：売上高 100 億円への飛躍的成長を目指す中小企業
- ・補助事業の要件：①投資額 1 億円以上(外注費、専門家経費を除く補助対象経費)②「売上高 100 億円を目指す宣言」を行っていること③賃上げ要件など
- ・補助対象経費：建物費、機械装置、ソフトウェア、外注費、専門家経費
- ・その他：3 月中の公募要領の公開を予定。原則令和 8 年度末までに 3 回程度の公募実施予定。

### ☆新規事業進出補助金

- ・補助対象者：企業の成長・拡大に向けた新規事業への挑戦を行う中小企業等
- ・補助事業の要件：①付加価値額の年平均成長率が+4.0%以上増加②賃上げ要件③④次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を公表等
- ・補助対象経費：建物費、構築物費、機械装置・システム構築費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド サービス利用費、外注費、知的財産権等関連経費、広告宣伝・販売促進費
- ・その他：収益納付は求めません。賃上げ要件が未達の場合は、返還を求めます。(天災など例外あり)

### ☆ものづくり補助金

- ・補助対象者：設備投資、販路拡大、IT 導入を実施する中小企業・小規模事業者
- ・補助事業の要件：①付加価値額の年平均成長率が+3.0%以上増加②賃上げ要件③次世代法に基づく一般事業主行動計画を公表等
- ・補助対象経費：機械装置・システム構築費（必須）、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド サービス利用費、原材料費、外注費、知的財産権等関連経費
- ・その他：収益納付は求めません。賃上げ要件が未達の場合は、返還を求めます。(天災など例外あり)  
最低賃金近傍の事業者の補助率を 1/2→2/3 へ引き上げ。

上記の 3 つの補助金の共通点として、賃上げ要件<sup>1</sup>があります。補助金の要件を見るだけでも、政府の賃上げへの熱量が高いことが伺えます。

設備投資や新規事業への進出を検討しているお客様がいらっしゃいましたら、ぜひ担当者ご相談ください。

---

<sup>1</sup> 各補助金によって賃上げ要件の内容は違うので、ご確認ください。